

計画事業番号	00266	事務事業名	エコミュージアム普及推進事業	担当部署	教育部エコミュージアムセンター	電話	372-0158
--------	-------	-------	----------------	------	-----------------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則			
事務事業開始年度	平成17年度		個別計画等	北広島エコミュージアム構想—まるごときたひろ博物館—、北広島市社会教育の推進方針、北広島エコミュージアム会議設置要綱			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 5 節) 歴史の継承と創造	
	(施策 1) エコミュージアム構想の推進	
2 対象	市民及び市内各地域の遺産(自然遺産、歴史遺産、産業遺産等)	
3 目的と内容	<p>【事業概要】エコミュージアムセンターを拠点とし、市内各地に存在する自然遺産や歴史遺産などを現地において保存・育成・展示することにより、魅力ある地域づくり・まちづくりを行政と市民の協働で推進する。また、郷土に関する講座や体験学習を通して郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を持ち、郷土愛を育む学習機会を提供する。</p> <p>【事業の目的】市民が文化財・郷土資料等について理解を深め、郷土を愛する気持ちを育み、地域の自然遺産や歴史遺産などに尊敬の念と感謝の気持ちを持って、自分たちのまちを誇りに思うようになることを目的とする。</p>	
4 実施内容(手段)	28年度まで	(1) まちを好きになる市民大学 (2) 地域遺産発見バスツアー (3) エコミュージアム会議の開催 (4) 体験学習の場を提供 ①昆虫観察教室②カンジキDE自然観察 (5) 企画展示の開催 (6) 北広島マンモス大復活プロジェクト (7) エコミュージアム講演会
	29年度	(1) まちを好きになる市民大学 (2) 地域遺産発見バスツアー (3) エコミュージアム会議の開催 (4) 体験学習の場を提供 ①昆虫観察教室②カンジキDE自然観察 (5) 企画展示の開催 (6) エコミュージアム講演会

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
施設の管理運営 エコミュージアム会議の開催 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産発見バスツアーの実施 常設展示・企画展示・講演会の開催	平成29年3月31日現在入館者数~7,237人 エコミュージアム会議の開催3回 まちを好きになる市民大学の開講(1年生14回、2年生13回) バスツアーの実施(3回38人) 企画展2回、夏休み冬休み子供対象の特別展3回開催	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みの検討	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みづくり	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みづくり	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みづくり	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みづくり	施設の管理運営 エコミュージアム会議 まちを好きになる市民大学の開講 地域遺産バスツアーの実施 常設展・企画展・講演会の開催、サテライト整備に伴う地域遺産説明板・標柱の設置、市民活動推進の仕組みづくり

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			5,735		5,525		8,321		7,997	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	503		2,349		151		151	
		一般財源	5,232		3,176		8,170		7,846	
	① 合計	5,735		5,525		8,321		7,997		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	1.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	16,800	4,500	16,800	4,500	16,800	4,500	16,800	4,500	
総事業費①+④			27,035		26,825		29,621		29,297	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①まちを好きになる市民大学入学者数	目標値 実績値	人 20 12	20	20	20
	②市内見学バスツアー	目標値 実績値	人 120 38	120	120	120
	③カンジキDE自然観察の実施	目標値 実績値	人 20 17	20	20	20
	④	目標値 実績値				
成果指標	①まちを好きになる市民大学OB会会員	目標値 実績値	人 76 63	83	90	97
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値 実績値				
③	目標値 実績値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市内各地区にある自然遺産や歴史遺産などを現地で保存活用するとともに、知新の駅を核としたエコミュージアムの体系を、市民の力を借りながら維持し、運営していく事業であることから、公費の充当、上位施策への貢献度は高い。また、人づくりや市民参加を前提とするため特定団体の利益に偏ることはない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	エコミュージアム構想を推進する事業であり、一定の成果を収めてきたが、市民活動を推進する仕組みづくりや、市内各地のサテライト整備などについては今後とも取り組むべき課題となっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	上記の課題を解決するため、エコミュージアム会議や市民大学卒業生との連携を強めるほか、市民活動を推進する仕組みづくりなどにより、成果の向上を目指していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	現在は、コスト削減の余地がないが、市民活動を推進する仕組みづくりの成果として、エコミュージアム関係事業を実施する活動主体の育成を目指している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。